



プレスリリース

平成29年2月17日
内閣府
政策統括官（科学技術・イノベーション担当）
沖縄振興局

沖縄でのバス自動運転実証実験について

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「自動走行システム」にて、今年度実施する予定の沖縄県南城市でのバス自動運転実証実験については、本年3月20日（月・祝）から開始することとなりましたので、お知らせします。

1. 概要

SIP自動走行システムでは、自動運転技術の公共バスへの活用等について必要な技術検討等を行っていますが、内閣府沖縄担当部局における沖縄の交通環境改善に向けた取組との連携により、沖縄での公共バスの利便性向上、地域社会の活性化等を目指し、平成28年度（今年度）から30年度にかけて、同県でバス自動運転実証実験を推進することとしています。

現在、実験計画の詳細検討や調整・準備等を進めているところですが、その結果、**今年度の実証実験については本年3月20日（月・祝）から開始**することとなりました。また、同実証実験の様様はご関心の方々に広くご覧頂けるよう、**インターネット中継を行う予定**です。

なお、本実証実験は、地域のコミュニティバス等での自動運転技術の活用を想定して公道にて実施するものですが、このような本格的な公共バスへの適用に向けた実証実験は全国初となる見込みです。

2. 今年度の実証実験（予定）

- 1) 開始日 平成29年3月20日（月・祝）
- 2) 実施予定エリア 沖縄県南城市「あざまサンサンビーチ」周辺道路
- 3) 主な実施内容等
 - 走行ルートにおける自動運転の性能評価（正着制御の精度、車線維持制御の安定性等を検証）
 - 走行状況（速度・位置等）のデータ収集・モニタリング、運行管理などに関するシステム検証
 - 自動運転技術を使った公共バスの社会受容性調査 等
- 4) 今後の予定等
 - 実証実験の様様（映像）について、**インターネット中継を行います**。詳細は今後、SIP自動走行システムのHP（<http://www.sip-adus.jp/>）に掲載予定です。

- 本実験実施にあたっては、具体的な実験条件や安全管理等について、関係者と調整の上、進めてまいります。

3. その他

平成29年度及び30年度は、実装環境に近い場所で、より高度な自動運転バスの技術実証等を実施する予定であり、その実施内容、実施予定エリア等については、今後詳細検討の上、別途公表します。

また、本取組については、関係省庁にて進められている自動走行システムの応用実装技術等の開発、実証の取組とも連携して実施してまいります。

※取材可能な上記実証実験については、詳細が決まりましたら、別途案内します。

【添付資料】 沖縄でのバス自動運転実証実験の概要について

<問合せ先>

SIP自動走行システムの取組、本実証実験の内容について 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 SIP自動走行システム担当（森下、石黒、土田）
--

電 話：03-6257-1314（直通）

FAX：03-3581-9969

沖縄の交通環境改善に向けた取組について

内閣府 沖縄振興局

振興第一担当参事官室（滝澤、岩本）

電 話：03-6257-1665（直通）

FAX：03-3581-1683

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
「自動走行システム」における
沖縄でのバス自動運転実証実験
の概要について

沖縄でのバス自動運転実証実験の概要

1. 実施の趣旨・目的

沖縄の交通環境やニーズ等に合わせ、ステップ・バイ・ステップで実施。

内閣府の沖縄担当部局における地元自治体等との緊密な連携による各種取組との相乗効果を発揮。

今後の自動運転技術の活用等について、関係者の協調、協力体制を構築し、沖縄での公共バスの利便性向上による交通改善、地域社会の活性化等を目指す。

「次世代都市交通システム」の地方展開や公共交通分担率の向上等に向けたモデルケースを確立。

2. 実施内容・スケジュール

平成28年 12月26日 実施概要の公表

平成29年 2月17日（本日）今年度実証実験の日程等の発表

平成29年3月20日～（年度内） **実証実験 - 第1ステップ -**

公道にて、公共バスの正着制御の技術実証等を実施。

- ✓ 走行ルートでの自動運転の性能評価（正着制御の精度や車線維持制御の安定性等を検証）
- ✓ 走行状況のデータ収集・モニタリング、運行管理等のシステム検証
- ✓ 自動運転技術を使った公共バスの社会受容性調査 等

平成29年度 **実証実験 - 第2ステップ -**

公道上の通常の交通環境にて、公共バスの正着制御の技術実証等を実施予定。

平成30年度 **実証実験 - 第3ステップ -**

公道上の通常の交通環境にて、公共バスの正着制御を含むより高度な自動運転バスにつき、技術実証等を実施予定。

今後、詳細検討を進める予定

3. 実施予定エリア

沖縄県南城市等（今年度は同市「あざまサンサンビーチ」周辺道路にて実施予定）

4. 主な実施内容

< バス自動運転実証実験 >

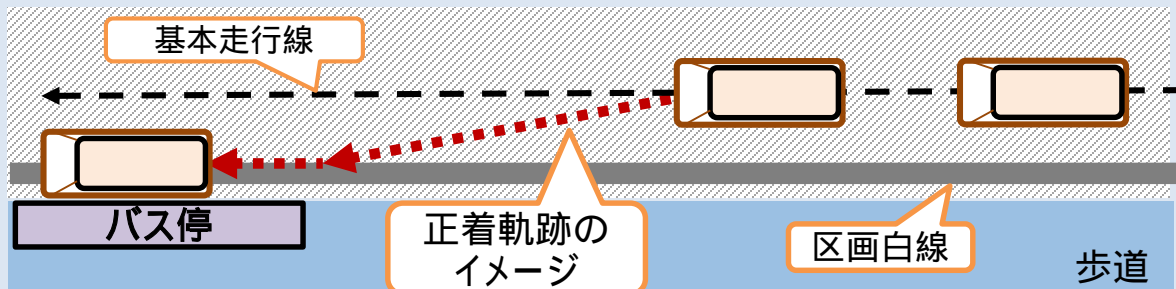
第 1 段階におけるバス停への 正着制御機能の検証

< 正着制御のイメージ >

車いすや高齢者の方々も乗り降りしやすいよう、
バス停にほぼ隙間なく正確に横付け



地域のコミュニティバス
等での自動運転技術
の活用を想定し、小型
バス車両を用いて実証



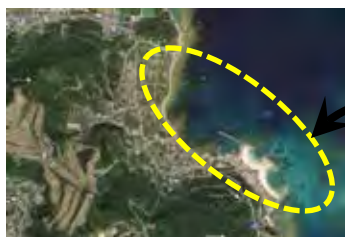
第 2 段階における自動運転機能の検証

走行環境認識性能の
向上等による自動運転
機能の実証



(参考) 実施予定エリア図

今年度（本年3月20日～）
沖縄県南城市「あざまサンサンビーチ」周辺道路
平成29年度、30年度
南城市等の一般道を想定<別途検討>



あざまサンサンビーチ周辺
(沖縄県南城市)



(注) 今後の検討・調整により、一部変更等を行う可能性あり